

風しんワクチン接種費用の一部を助成

接種前に風しん抗体検査を受けるのを忘れなく

市は、風しんの感染対策として、風しん予防接種費用の一部を助成します。風しんは、妊娠中の女性がかかると、心臓病や白内障、聴力障害などの障害のある赤ちゃんが生まれる可能性がある病気です。妊娠を希望する女性などで、抗体が不十分な人は、予防接種を検討してください。

●対象 風しんの抗体検査を受け、抗体が不十分なことが確認された、次のいずれかに該当する市民

▷原則 20歳以上で妊娠を希望または妊娠する可能性が高い女性（妊婦の接種はできません）

▷風しん抗体検査で抗体が不十分なことが確認されている、または抗体検査を受けていない妊婦の配偶者

●助成期間 10月1日～来年3月31日の期間に行った風しん予防接種の費用

●助成額 麻しん・風しん混合（MR）ワクチン＝上限7000円、風しん単独ワクチン＝上限5000円

※助成は1人1回限り。助成金の振り込みは申請後1か月以上かかることがあります。

●申請に必要な物 申請書、抗体検査結果表の原本、予防接種の種類や費用が分かる領収書か接種済証の原本、接種を受けた人名義の預金通帳、申請者が妊婦の配偶者の場合は母子健康手帳、印鑑（スタンプ印不可）

※申請書は市公式サイトからダウンロードできます。

●申請窓口 柳川庁舎健康づくり課健康係（14番窓口）※郵送での申請はできません。

●申請期限 来年3月31日

問い合わせは、同係（☎77・8536）まで。

麻しん風しん混合1期・2期予防接種実施医療機関

医療機関名	住所	電話番号	接種曜日・時間帯など
高橋皮ふ科医院	本町	74・4155	診療時間内実施
二宮医院	本町	73・2600	月～金曜＝14～15時、土曜＝13～14時
木村回生医院	曙町	73・2012	平日＝9～11時、14～17時
町野医院	新船津町	72・2246	火～土曜の診療時間内
まつなが内科クリニック	鬼童町	72・5711	月～木曜＝15時～、土曜＝9時～
大城医院	矢留本町	73・2427	診療時間内実施
よこち小児科医院	上宮永町	72・1800	木曜午後以外診療時間内実施
甲斐田医院	西浜武	72・3435	診療時間内実施
金子病院	久々原	73・3407	月～金曜＝9～16時
幾嶋医院	田脇	73・3411	診療時間内実施
津末医院	久末	72・2516	診療時間内実施
古賀医院	柳河	72・2207	診療時間内実施
整形外科・皮膚科・柳川ツジ医院	柳河	72・1122	診療時間内実施
吉田小児科医院	垂見	74・0550	診療時間内実施
井口こどもクリニック	今古賀	72・1888	診療時間内実施
藤野医院	中島	76・0011	診療時間内実施

毎月1回、風しん抗体検査を無料で実施

県南筑後保健福祉環境事務所では、毎月無料の風しん抗体検査を同事務所で実施しています。

●実施日 11月12日、12月10日、来年1月14日、2月13日、3月11日、各日程定員30人

●時間 午後1時30分～3時30分

●予約受付 平日午前8時30分～午後5時

予約、問い合わせは、同事務所（☎72・2812）まで。

小児用肺炎球菌ワクチンが11月1日から変更

より多くの予防効果が期待できる13価肺炎球菌ワクチンに

小児用肺炎球菌の定期予防接種に使用されるワクチンが、11月1日から13価肺炎球菌ワクチンに変更されます。13種類の成分が入った13価ワクチンは、これまでよりも多くの種類の肺炎球菌に対して効果が期待できると考えられています。

すでにこれまでの7価ワクチンで数回接種している場合は、11月1日以降、残りの回数を13価ワクチンで接種してください。予防接種を遅らせたり、途中で中断してしまうと、十分な予防効果を発揮できない可能性があります。接種年齢を迎えたら、速やかに接種してください。

問い合わせは、市健康づくり課健康係（☎77・8536）まで。

小児用13価肺炎球菌ワクチンの接種スケジュール

初回接種開始年齢	接種回数	接種間隔
生後2～6か月	初回3回 追加1回	初回3回：27日以上あける 追加1回：1歳以上で、初回の3回目から60日以上あける ※ただし、初回の2回目と3回目の接種は、1歳までに終了（追加接種は実施可能）
生後7～11か月	初回2回 追加1回	初回2回：27日以上あける 追加1回：1歳以上で、初回の2回目から60日以上あける ※ただし、初回の2回目の接種は、1歳1か月までに終了（追加接種は実施可能）
1歳	2回	1回目から60日以上あける
2～4歳	1回	

特定健診は受けたか～

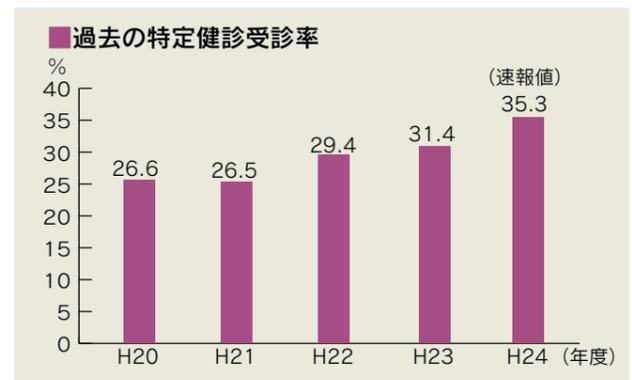
11月30日までに年に1度の体のチェックを

生活習慣病予防に特定健診を受診しよう



市は、平成20年度から特定健康診査（特定健診）を行っています。特定健診は、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の危険性を早く見つけて、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病を未然に防ぐことが目的です。昨年度の実診率は35.3%で、目標の65%の約半分にとどまっています（下図参照）。今年も6月から8月までの受診率は、約8.8%と非常に低い状況です。心筋梗塞や脳卒中は、全身の血管が傷むことで起こる病気です。ほとんどの場合、自覚症状がなく「血管を傷める原因」を持ったまま、10年、20年と月日が流れ、知らず知らずのうちに進行していきます。発症は「ある日突然」「運悪く」ではなく、血圧や血糖が少しずつでも高い状態が長期間続いて、血管を傷めた結果なのです。

皆さん、自分の体は大丈夫だと過信してはいませんか。健康や体力に自信がある人でも、体の中で知らず



知らずのうちに病気が進行していることがあります。1年に1度の健康チェックのために、特定健診を受けましょう。

●対象 40歳から74歳で、市の国民健康保険に加入している人。高血圧や脂質異常症、糖尿病にかかって治療のために薬を飲んでいる人も受診可

※市の国民健康保険以外の健康保険に加入している人は、保険証に記載されている保険組合などにお尋ねください。

●受診方法 医療機関に予約し、受診券と国民健康被保険者証を持って受診、自己負担金1000円

●実施機関 広報6月15日号や5月下旬に配布した「がん検診・特定健診のご案内」に掲載している医療機関

●受診券の再交付 5月下旬に郵送した受診券をなくした人は、柳川庁舎健康づくり課（15番窓口）で申請すれば再交付可能。申請には国民健康被保険者証と印鑑が必要

●健診期限 11月30日（土）



家庭訪問で特定健診の受診を勧めています

市は、多くの人に特定健診を受診してもらおうと、保健師や看護師が家庭訪問をして受診を勧めています。勤め先の事業所や医療機関で健診を受診している場合は、その結果を尋ねることがあります。健診の検査項目が特定健診と同じ場合は、特定健診を受けたとみなし、受診率の向上にもつながります。保健師などが訪問したときは、特定健診や健康のことなどについて気軽に相談してください。

問い合わせは、市健康づくり課国民健康保険係（☎77・8506）まで。

歯の無料健診忘れず受けよう

市は、国民健康保険に加入している人を対象に歯科健診を実施しています。平成23年に国が行った歯の実態調査では、80歳で自分の歯が20本残っている人の割合は、38・3%。歯と口の健康を保ち、いつまでも自分の歯で食事ができるように「80歳で20本」を目指して、歯科健診を1年に1度受けましょう。

●対象 40歳から74歳で、市の国民健康保険に加入している人

●実施期間 通年

●受診方法 歯科医院に保険証を掲示して受診。年度内1回の受診費用は無料

●実施機関 市内、みやま市内（旧高田町を除く）の歯科医院 ※健診結果によって治療を受ける場合は、治療が必要で、問い合わせは、市健康づくり課国民健康保険係（☎77・8506）まで。

